



震災から5年・・・  
何が違って、何が変わらないのか  
自分の眼とこころで確かめてみませんか？

## チャイルドライン全国フォーラム 2016 in 福島

2016.10 **22**土 | **23**日 | **24**月

### 会場

- 22日** エスパル福島5F  
ネクストホール  
(福島市栄町1-1)
- 23日** コラッセふくしま  
(福島市三河南町1-20)  
佐平ビル 9F会議室  
(福島市置賜町1-29)

### 参加費

22日 2,000円 23日 2,000円  
両日参加の場合 3,000円  
交流会 5,500円  
スタディツアー 5,500円 (保険料込)

※参加費の一部は、福島県内の子ども支援団体への寄付といたします

### 22日

- 基調講演  
「被災した子どものグリーンケア」  
シンシア・ホワイト 通訳 伊藤 ヒロ

- DVD上映会 福島県立相馬高校放送局制作  
「今、伝えたいこと(仮)」他

- パネルディスカッション  
「震災から5年、被災地の子ども支援を考える」

**23日**  
分科会 & 全体会

**24日**  
福島県沿岸部被災地スタディツアー  
～原発周辺と子ども支援の現場を訪ねる～



主催:チャイルドライン全国フォーラム実行委員会(チャイルドラインふくしま、チャイルドラインこおりやま、認定NPO法人チャイルドライン支援センター)  
後援(予定):内閣府、文部科学省、厚生労働省、公益社団法人日本小児科医会、チャイルドライン支援職員連盟、福島県、福島県教育委員会、福島市、福島市教育委員会、郡山市、郡山市教育委員会、朝日新聞福島総局、毎日新聞福島支局、読売新聞東京本社福島支局、産経新聞福島支局、福島民報社、福島民友新聞社、福島テレビ、福島中央テレビ、テレビユー福島、福島放送、ラジオ福島、ふくしまFM、FMポコ、福島リビング新聞社、週刊郡山社ザ・ウィークリー

10月22日(土)

会場 エスパル福島5F  
ネクストホール

参加費 2,000円  
(22日のみ参加の場合)

13:30~15:00

基調講演 「被災した子どものグリーフケア ~今、私たちにできること~」

講師 シンシア・ホワイト 通訳 伊藤 ヒロ

NPO法人Kids Hurt Too Hawaii創設者・エグゼクティブディレクター  
30年以上にわたり、死別・喪失体験やトラウマ体験をした子どものケアに取り組む  
東日本大震災以降は被災地を訪れ、日本の子どもたちへのケア活動を実践している

15:10~16:10

DVD上映会「今、伝えたいこと(仮)」他  
福島県立相馬高校放送局制作

16:10~18:10

パネルディスカッション  
「震災から5年、被災地の子ども支援を考える」  
成井 香苗 (NPO法人ハートフルハート未来を育む会理事長/臨床心理士)  
鈴木 綾 (チャイルドラインこおりやま理事)  
渡部 義弘 (元相馬高校放送局顧問)  
相馬高校卒業生 (「今、伝えたいこと(仮)」制作メンバー)  
コメンテーター: シンシア・ホワイト (NPO法人Kids Hurt Too Hawaii創設者)  
モデレーター: 神 仁 (チャイルドライン支援センター代表理事)

交流会 10/22(土)  
19:00 - 21:00  
エルティ (福島市野田町1-10-41)  
参加費 5,500円

参加費 2,000円  
(23日のみ参加の場合)

10月23日(日)

会場 コラッセふくしま  
佐平ビル9F会議室  
(部屋番号は当日お知らせします)

9:00-15:00 (休憩1時間)

①子どものトラウマ・グリーフケア  
~被害を受けた子ども、喪失体験をした子どもたちへの  
寄り添い方について学ぶ(ワークショップあり)~  
シンシア・ホワイト (NPO法人Kids Hurt Too Hawaii創設者)  
通訳 伊藤 ヒロ

9:00-15:00 (休憩1時間)

②子どもたちのダイバーシティ(多様性)  
~ジェンダー・バイアス(偏見)からジェンダー・  
フリー(解放)への学び 被災地の状況にイマジネーション~  
前川 直哉 (ダイバーシティふくしま共同代表)  
佐藤 翠 (ふくしまコミュニティベースよりみちスタッフ)  
チャイルドラインふくしまスタッフ

9:00-15:00 (休憩1時間)

③子どもたちからの未来への提言  
~子どもたちは、震災・福島第一原発事故後にふくしまを  
どう生きてきたのか?~  
福島県内高校生・大学生  
中鉢 博之 (NPO法人ピースふくしま常務理事)  
金子 由美子 (チャイルドライン支援センター理事/  
NPO法人さいたまコースサポートネット学習支援教室代表)  
田中 哲 (チャイルドライン支援センター理事/  
東京都立小児総合医療センター副院長/児童精神科医)  
野口 まゆみ (チャイルドラインふくしま理事/西口クリニック婦人科院長)

9:00-15:00 (休憩1時間)

④持続可能な組織運営を目指して  
~マネジメントとファンドレイズ「クラウドファンディ  
ングの実践と可能性」/ボランティアのモチベーション  
アップ~  
村上 敏也 (チャイルドライン支援センター常務理事/  
東立広島大学大学院経営管理研究科准教授 博士(経営学))  
家本 賢太郎 (チャイルドライン支援センター理事/  
株式会社クララオンライン代表取締役社長)

9:00-12:00 ※チャイルドライン関係者のみ

⑤アウトリーチプログラム  
~自己肯定感を高めるためのワークショップ~  
昨年度より開発中のチャイルドラインならではの  
「聴く」「話す」を土台にした、子どものためのアウ  
トリーチプログラムを体験してみませんか?  
高橋 弘恵 (NPO法人チャイルドラインあいち代表理事)  
アウトリーチPTメンバー

13:00-15:00 ※チャイルドライン関係者のみ

⑥オンライン相談の可能性  
~チャイルドラインで取り組んできた電話以外のツールの模索~  
支援センターで行ったオンライン相談の試行を踏まえ、子どもの  
心に寄り添うツールについて考える。  
神 仁 (チャイルドライン支援センター代表理事)  
水口 良子 (チャイルドライン支援センター理事・オンラインリアルPT担当/  
認定NPO法人チャイルドラインさっぽろ理事・事務局長)

※講師及び一部内容が変更になることがあります。表記中敬称略

分科会/熊本地震報告  
(全体会)  
15:30-16:30

10月24日(月)

8:00~18:00

参加費 5,500円  
(保険料込)

福島県沿岸部被災地スタディツアー  
~原発周辺と子ども支援の現場を訪ねる~

南相馬市子ども遊び場「みんな共和国」他  
福島駅西口出発~道の駅川俣~飯舘村~南相馬市内~仙台空港/仙台駅解散  
※20名に満たない場合、ツアーを中止する可能性がございます  
※バス移動、車中ガイドあり  
※道路・気象状況によって、到着時間が遅れる場合がございます

※下記は一般の方専用です。チャイルドライン関係者は、別紙参加申込書をご利用下さい

参加申込

※切: 9月20日(火)まで

一般の方は、下記申込欄に必要事項を明記の上  
FAX: 024-563-4306 にお申し込みください。  
申込確認後、事務局より請求書をお送りします。  
※10月8日(土)以降の変更については、一部キャンセル料が  
発生します

【申込・問合せ先】チャイルドラインふくしま事務局  
〒960-8034 福島県福島市置賜町1-29 佐平ビル8階  
TEL: 024-563-4191 (平日9:00~17:00)  
FAX: 024-563-4306  
MAIL: info@cl-fukushima.org

お名前			所属 職業
ご住所	〒		電話番号
参加内容 ○をご記入下さい	22日 プログラム( ) 交流会( )	23日 分科会 ①( ) ②( ) ③( ) ④( ) 全体会( )	24日 スタディツアー( ) 解散希望地 仙台空港( ) 仙台駅( )